

(様式1)

校 種	小	学校番号	5 4	学校名	宇都宮市立 瑞穂台小学校
-----	---	------	-----	-----	--------------

令和6年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の教育を基盤として、よい校風の樹立と21世紀を担う人づくりを目指し、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい人間の育成を図る。

(2) 具体目標

- よく考え 自ら学ぶ子
- 心豊かで 思いやりのある子
- 自ら行動し たくましい子

2 学校経営の理念

誰もが安心して学べ、居がいのある学校で、未来を担う子供たちを育む。

合言葉「よく学び 心のふるさと みずほだい」

- (1)「安心して学べる学校」とは ⇒ 教育への情熱と使命感をもった信頼できる教師が、児童一人一人の教育的ニーズを把握し、丁寧な指導・支援を行う学校。
- (2)「居がいのある学校」とは ⇒ 子供たちが自分のよさを生かし、認め合い協力し合える居心地のよい場となるよう、工夫した教育活動を行う学校。
- (3)「未来を担う子供たち」とは ⇒ 知・徳・体のバランスの取れた力を身に付け、自らの夢やよりよい社会に向け、困難を乗り越えようとすることができる児童。

3 学校経営の方針

[瑞穂野地域学校園教育ビジョン]

9年間の連続した学びの中で、

生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）を育てる小中一貫教育
～言語能力を身に付け、他者と関わりあいながら、たくましく成長する児童・生徒の育成～

- (1) 確かな学力を育む教育の推進
主体的・協働的な学びの充実を図ることにより、活用できる知識・技能を習得するとともに、思考力・判断力・表現力等を育む。
- (2) 豊かな心を育む教育の推進
認め・褒め・励ます教育に取り組むとともに、体験活動を取り入れた指導の充実を図ることにより、自己肯定感、目標に向かって挑戦するたくましさ、規範意識、思いやりなどを育む。
- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進
体力・保健・食・安全に関する教育の充実を図ることにより、そこで身に付けた資質・能力を関連付けて適切に判断し行動できる力を育む。
- (4) いじめ・不登校対策の充実
各教科の授業の質の向上やきめ細かな学級経営、課題の早期発見・早期対応に取り組むことにより、安心して過ごせる学校づくりを行う。
- (5) 多様な教育的ニーズへの支援の充実
児童一人一人の教育的ニーズを把握し、家庭と連携・協力しながら個に応じた寄り添った指導・支援を行うことにより、自信と意欲をもって過ごせる学校づくりを行う。
- (6) 教職員のチーム力の向上及び働き方改革の推進
教職員の資質・能力の向上や連携・協働などにより、教育活動の質的向上を図るとともに、業務の効率化や労働時間の適正化により、いきいきと働くことができる職場づくりを行う。
- (7) 地域とともにある学校づくりの推進
学校園の実態を踏まえた教育活動を進めるとともに、地域の教育資源を活用できる体制を整えることにより、地域と連携・協働した学校づくりを行う。

4 教育課程編成の方針

- (1) 法令・学習指導要領・本市の計画等を踏まえた編成
関係法令・学習指導要領・本市の計画・令和6年度指導の重点等を踏まえて編成する。
- (2) 各教科・領域等との関連を図った編成
各教科・領域及び行事等の目標や内容を見通し、相互に関連付けながら編成する。
- (3) 児童の実態等に応じた編成
教育活動の成果と課題を把握し、成果の伸長や課題の解決を図れるように編成する。
- (4) 教科担任制を取り入れた編成
高学年を中心に、効果的に教科担任制を取り入れて編成する。

5 今年度の重点目標 ○：「小中一貫教育・地域学校園」に関する目標

- (1) 学校運営
児童が安心して学び、居がいのある学校となるために、教職員がいきいきと勤務できる環境を整え、信頼される教職員を育てる。
- (2) 学習指導
○主体的・協働的に学び合える児童を育てる。
- (3) 児童指導
自分を大切にするとともに、他者の存在を尊重する心豊かな児童を育てる。
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）
自らの健康・安全を考え、目標に向かって継続して挑戦する児童を育てる。

6 学習指導、児童指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
本校の合言葉「よく学び 心のふるさと みずほだい」を具現化するための資質・能力
・ 学び合いの中で、自己の成長を目指して主体的に取り組む力
・ 豊かなかかわりを通して、自他の違いを尊重し合う態度
- (2) 具体的取組 ◇：「頑張る学校プロジェクト」に関する取組
 - ① 児童が意欲的に取り組む授業づくり
・ 認め・褒め・励ます機会を設定するとともに、成功体験が積めるように指導を工夫する。
・ コミュニケーション能力を育むために、話し合う・協力し合う活動を意図的に設定する。
・ 授業を振り返る場面を設けるとともに、必要に応じてSCM等と連携して支援する。
 - ② 居心地のよさが感じられる集団作り
・ 一人一人が認められていると感じたり、協力して取り組んだりする活動を工夫する。
・ 学校や学級のルールを明確にするとともに、子供たちが協力して実行する活動を工夫する。
・ 係活動等を活性化するとともに、学級のために何ができるか自ら考える活動を工夫する。
 - ③ 児童の主体性等を育む活動
・ 児童の主体性や責任感、達成感等を育むために、縦割り班活動などの児童会活動を工夫する。
 - ④ 地域に根差した活動
・ わがまち意識を育むために、地域全体で取り組んでいるホタルの飼育活動を取り入れる。

8 本市の重点施策・事業との関連

- (1) 地域とともにある学校づくり
 - ① 基本的考え
本校の教育理念を学校・家庭・地域で共有するとともに、地域の教育資源を活用できる体制づくりを進めることにより、心豊かでたくましい児童を育てる。

- ② 主な取組
 - ・ 地域コーディネーターを中心とした、保護者や地域による学校支援体制を整備する。
 - ・ 地域の教育資源を活用した教育活動を行う。
 - ・ 児童が主体となった地域と連携した活動を行う。
 - ・ 幼児教育施設との交流活動や情報交換など、相互理解を深める取り組みを行う。
- (2) 小中一貫教育・地域学校園
 - ① 基本的考え

瑞穂野地域学校園の小中学校が、「目指す児童生徒像」や「重点目標」を設定、共有し取り組むことによって、確かな学力と豊かな心を育成する。
 - ② 主な取組
 - ・ 9年間を見通した目指す子ども像を設定する。
 - ・ 9年間を見通し、重点化する内容を定め、系統的に指導できるように、小中一貫のカリキュラムを編成する。
 - ・ 9年間を見通した小学校高学年からの効果的な教科担任制の構築を図る。
 - ・ 児童生徒指導主事・主任の会議、SCによる合同研修、SSWとの合同ケース会議など、児童生徒指導を強化する。
 - ・ 中学校教員による乗入授業、小中学校教員の相互の授業参観など、学校間の交流を促進する。
- (3) 不登校対策
 - ① 基本的考え

児童に寄り添いながら安心して過ごせる学校づくりを進めるとともに、全教職員が不登校児童への支援への理解を深め、学校全体でチームとして支援していくことにより、不登校の防止に努める。
 - ② 主な取組
 - ・ 「児童が意欲的に取り組む授業づくり」や「居心地の良さが感じられる集団作り」に取り組む。
 - ・ 「Q-U」を活用するなど、多様な視点で個人や集団を見取る。
 - ・ 初期段階から組織的な対応を行う。
 - ・ 本人や保護者の意向を踏まえた寄り添った対応を行う。
- (4) GIGAスクール構想
 - ① 基本的考え

全ての児童、教員が協働学習ソフト等を活用した授業を行えるようにすることにより、教科等の学びを深める。
 - ② 主な取組
 - ・ 児童の成果物を共有、学級で意見交換する。
 - ・ ワープロ、表計算、プレゼンソフトを共同編集で活用する。
- (5) 宇都宮学
 - ① 基本的考え

児童が地域社会に関わる活動を充実させることにより、わがまち意識を育む。
 - ② 主な取組
 - ・ 社会科と総合的な学習の時間において、市や地域のよさや特色を知るとともに、それらについて主体的に調べたり話し合ったりする学習活動を工夫する。
 - ・ 地域の教育資源を活用した教育活動を行う。
 - ・ 地域全体で取り組んでいるホタルの飼育活動を取り入れる。